



2026年2月26日

各位

会社名 オーウェル株式会社
代表者名 代表取締役社長 川戸 康晴
(コード：7670 東証スタンダード市場)
問合せ先 執行役員 秋谷 浩史
(TEL 06-6473-0138)

タクシー向け AI 通訳サービスの実証開始 (インバウンド対応強化) に関するお知らせ

当社の連結子会社であるユニ電子株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：須山晃夫、以下「ユニ電子」）、日本交通株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役：澤志郎、以下「日本交通」）、NTTメディアサプライ株式会社（本社：大阪市都島区、代表取締役社長：前田仁、以下「NTTメディアサプライ」）、ESTsoft Corporation（本社：韓国ソウル、代表：ジョン サンウォン、以下「ESTsoft」）、は、AI アバターを活用したタクシー向け AI 通訳サービスの実証事業を 2026 年 2 月 12 日より兵庫県城崎エリアにて開始いたしましたので、お知らせいたします。



記者発表時の様子



多言語に対応したタクシー向け AI アバター

また、上記取り組みにつきまして、同日の大阪 NEWS【テレビ大阪ニュース】公式 YouTube チャンネルにて紹介されましたので、下記よりご覧ください。

【タクシー業界の新技术】AI 通訳で言葉の壁を超える！英・中・韓…城崎温泉で実験

<https://www.youtube.com/watch?v=k7cYEorVwaI>

1. 実証事業の目的

近年、全国的に外国人観光客が急増しており、地方観光地におけるタクシー需要も拡大しています。一方で、外国語対応が可能なドライバーの確保には限界があり、乗客対応の心理的負担も課題となっています。

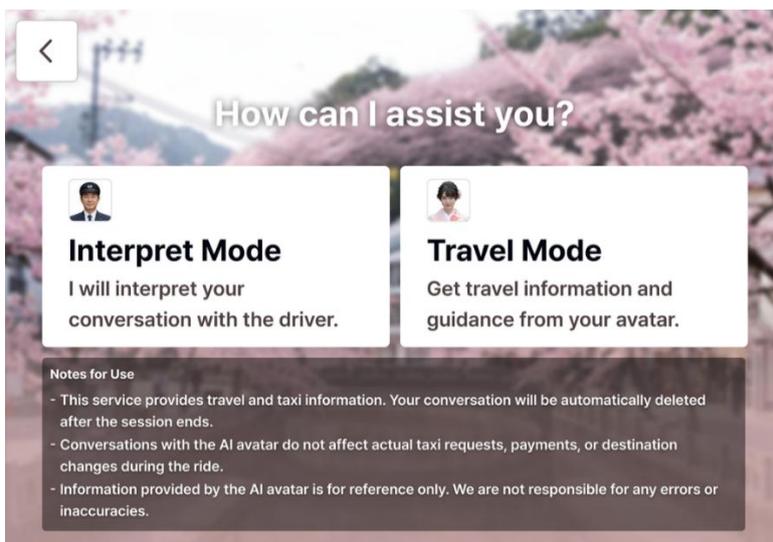
今回の実証はこうした課題解決を目的に、タクシー内で AI アバターがリアルタイム通訳と観光案内を行うことで、円滑なコミュニケーションを実現するものです。

2. 実証事業の概要

- (1) 期間：2026年2月12日～3月31日
- (2) 場所：兵庫県城崎エリア
- (3) 対象：日本交通のタクシー車両
- (4) 目的：タクシーにおける多言語コミュニケーション課題の解決
タクシー後部座席に設置したタブレット上で AI アバターが動作し、英語・ドイツ語・中国語・韓国語に対応します。

3. 実証事業の中で提供する主な機能

- (1) 通訳モード（リアルタイム多言語通訳）
 - ① 乗客とドライバー双方の音声を認識し、相手の言語へ自動翻訳
 - ② 車内の騒音や振動がある環境でも安定して動作
 - ③ 自然な会話の流れを維持するリアルタイム通訳を搭載
- (2) トラベルモード（観光案内）
 - ① 乗客との対話を通じ、周辺の観光地やグルメ情報を提案
 - ② 現在地を地図上で可視化し、目的地への案内も可能
 - ③ 旅行中の没入感や親しみやすさを向上させる対話体験の提供



AI 通訳サービスの通訳モード、トラベルモードの選択画面

4. 各社の役割分担

- (1) ユニ電子：システム設計・技術サポート
- (2) 日本交通：タクシー車両提供・実証フィールド運用
- (3) NTT メディアサプライ：事業企画・通信環境提供
- (4) ESTsoft：AI アバター技術の提供

本実証事業で得られた知見をもとに、ユニ電子はシステム設計の最適化と安定運用に向けた技術改善を進めてまいります。特に、走行中の振動・騒音環境における機器動作やネットワーク連携を検証し、車載システムとしての信頼性向上を図ります。

また、タクシー以外の観光バス・ホテルなど、多様な設置環境にも導入できるよう、機器構成の標準化と展開性の強化にも取り組んでまいります。

【お問い合わせ先】

ユニ電子株式会社 DX プロジェクト部

担当：趙、大山

TEL：03-6811-7478（9:00～17:00／土日祝・年末年始除く）

<https://uni-elec.co.jp/jp/home>

以 上